



坂下東小学校だより

坂下ひがし

坂下東小学校

令和4年1月12日

No. 17

第3学期がはじまりました

新年、明けましておめでとうございます。今年1年が子どもたち、そしてそれぞれのご家庭に幸多かれとお祈り申し上げます。

さて、昨日から49日間の3学期がスタートしました。この短い期間で1年間のまとめを行い、次の学年への準備をすることとなります。特に6年生にとっては、卒業に向けての準備が着々と進められます。悔いの残らない小学校生活を送られるよう気持ちを引き締めて臨ませたいと思います。

新型コロナウイルス感染も再拡大の傾向が見られます。年末には会津地区で10才未満での複数の感染者もみられました。まだまだ油断はできません。学校が始まり集団活動が多くなれば、それだけ感染拡大のリスクが高くなります。十分に感染防止を図りながら教育活動をすすめてまいります。

また、冬季間の事故も気になるところです。昨日の始業式で全校児童に積雪時の事故防止について指導しました。

- 絶対に道路に飛び出さない（車はスリップして止まらない）
- 道幅が狭いので注意して歩く
- 屋根からの落雪に気をつける（下ばかり見て歩かない）
- 雪玉を人に向けて投げない



鼓笛引継ぎへ

12月から鼓笛の引き継ぎが始まっています。春に鼓笛を披露する場面がありました。運動会で何とか披露できてよかったですと感じています。

次年度の楽器の編成については、金管楽器は合奏部もなくなり、子どもたちの負担軽減のためになくすようにしています。そして、それぞれの楽器の人数についても見直しをしました。

昼休み時間を使って6年生が4・5年生に教えている姿が見られます。来年に向けての取り組みが着々と進んでいます。



薬物乱用防止教室

12月16日に6年生が「薬物乱用防止教室」を行いました。ライオンズクラブ様のご協力によって実施することができました。

薬物乱用については、子どもたちは、はじめあまりピンとは来ていなかったようですが、自分たちの身のまわりに忍び込んでいる大麻や覚醒剤の話をよく聞いていました。

薬物の怖さは自分の命の危機につながることを学び、「ダメ、ゼッタイ」を合言葉として学びました。興味本位で1回でも手を出すと、抜けられなくなるのが薬物です。社会の闇に落ちないように学びました。



家庭でのIT活用

先月タブレットの通信環境テストを町教委主催で行いました。8割程度のご家庭で通信環境が整っているとの結果のようです。

学校では、1人1台のタブレット活用を図っていますが、家庭への持ち帰りも徐々にできるようになってくるでしょう。

さて、そうすると、各家庭でどのようにITを活用していくかが大きな課題となります。子どもたちが学校で使っているタブレットのドリルなどを中心に家庭学習が進んでいくものと思います。けれども、それだけでは十分とは言えません。

グーグルで調べる、興味のあることをユーチューブで見る、タブレットのドリルをする。それらは、結局のところどれをとっても「デジタルの消費」でしかないからです。そこから何か積み上がって新しい創造がなければ、「活用」とは言えません。

プログラミング学習を学校では行っています。これは論理的思考を育てることに目標があります。例えば、スクラッチを使って動きのある場面を作ったり、キーボードを打って日記を書いたり、計算問題をエクセルの関数を使って解いてみるなどやれることはありそうです。かといって、デジタルだけでも能力は伸びません。読売新聞社では、新入社員に半年間手書きで原稿を書くことを義務づけています。手書きの原稿は終わりまでの構成を考えないと書くことはできないからです。筆力を磨く訓練になっているようです。

これまでの宿題だけでなく、これからの時代を見据えた家庭学習ができそうです。



